

2015年度 学習院大学 東洋文化研究所 東洋文化講座

第87・88・89回 連続講座

激動するアジアの経済・社会

第88回

遊牧モンゴルにおける現代的課題

2015年11月9日(月) 18:00～20:00

講師：窪田 新一 氏

(大正大学 文学部 歴史学科 准教授)

場所：学習院大学 北1号館3階 308

監修：杉田善弘 (東洋文化研究所 所長)

司会：辻 大和 (東洋文化研究所 助教)

海老根 量介 (東洋文化研究所 助教)

入場料無料・事前予約不要

学習院大学 東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 (学習院大学 北1号館4階)

JR山手線 目白駅 徒歩1分

TEL.03-3986-0221 (内線 6360)

URL <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc>

今回の講座内容

遊牧モンゴルにおける現代的課題

2015年11月9日(月) 18:00～

今や地下資源大国となることも夢ではなくなったモンゴルにおいて、どのような自己像が最も優れた、未来に残すべき自己像なのであろうか。地下資源供給国として、豊かな国民一人一人の生活が約束されているのであろうか。どのようなアイデンティティをかつての遊牧民モンゴル人は持つようになるのであろうか。卑見を提示申し上げたい。



講演者 紹介

窪田 新一

1987年 大正大学大学院文学科単位取得退学後、笹川平和財団アドバイザー、日本学術振興会特別研究員等を務め、現在、大正大学文学部准教授、公益社団法人日本モンゴル協会理事長。著書に『変革下のモンゴル国経済』（共著、アジア経済研究所、1993年）『台頭中国の対外関係』（共著、お茶の水書房、2009年）等がある。また、『『モンゴル佛教史』研究（一）～（四）』（ランブル社、2002～2015年）を監修している。

東洋文化講座について

学習院大学東洋文化研究所は研究成果を広く社会に還元する取り組みの一環として、学生および一般の受講者を対象とした「東洋文化講座」を1985年度から開講しており、これまでも「日本人のアジア観」や「中国・朝鮮・日本の近代化を考える」などのテーマで講演を行ってきました。今年度の「東洋文化講座」では、各分野における第一人者の講師を招き、アジア諸国における経済・社会政策の展開をテーマに講演を行います。

今後の予定

第89回東洋文化講座

中国のシルクロード経済圏構想

2015年12月4日(金) 18:00～

渡辺 紫乃(上智大学 准教授)

於 学習院大学 北1号館3階308

